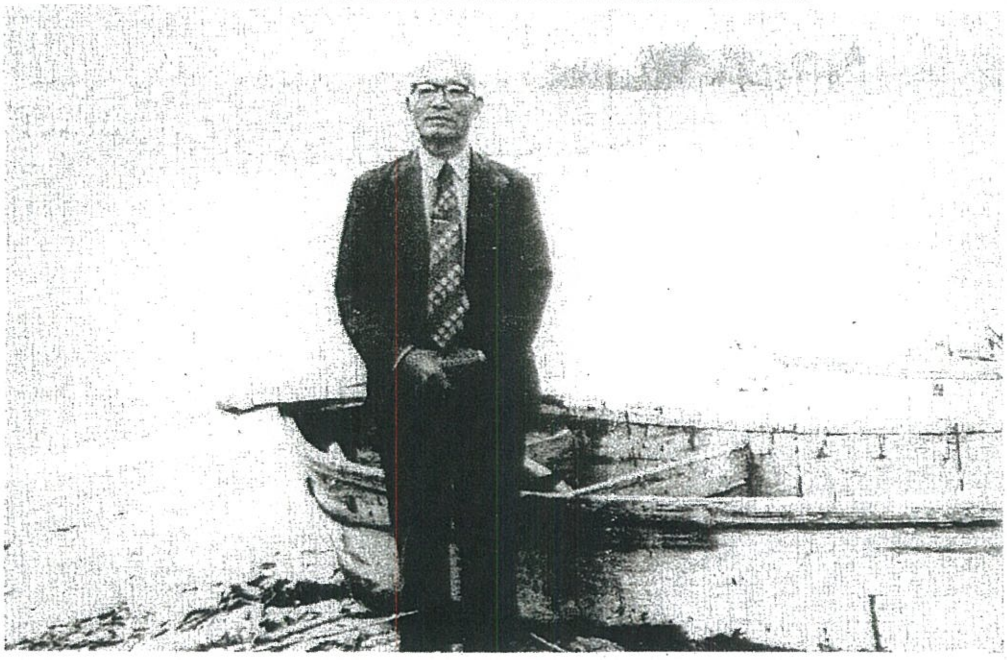
資料7

三　陸　新　報　　昭和50年11月２日　日曜日　復刊第8961

三陸新報
日曜版

春夏秋冬


尾崎海岸にて　尾形熊治郎氏

津波

尾形熊治郎

気象はある周期をもって反復されるといわれているが、何だか最近の気象は正常でないような気がしてならない。とくに私は海岸に住んでいるので、余計薄気味悪い。

昔は津波も三、四年に一回位は襲来したものだが、昭和三十五年五月のチリ地震津波以来、その気配もない。また、今年夏の土用明けから三十度を超す気温が一カ月以上も続いたことなどは、八十歳になるが聞いたこともない。気象庁の地震の権威者が震災の周期性を予測して退職後、都会から岩手県に移り住んだとか、今年の異常気象は何か災害の前触れのような気がして不気味である。

昔から怖いものに地震・雷・火事・親父があげられているが今誰も親父を怖がる者はいないが、突然グラグラと来る地震には誰だって平気でいられない。とくに海岸に住むわれわれは直ちに津波を連想する。海岸の至る所に「地震があったら津波の用心」の津波の記念碑が建っているが、地震がなくとも沖がドンと鳴らなくとも、津波のあることを知らねばならない。

過去四百年の間、記録に残る四十三例のうち九例が南米に起きた地震津波の余波である。昭和三十五年五月二十一日気象庁が南米のチリ地震をとらえ、続いて二十三日午前四時十五分、四度目の極めて激しい大地震を観測した。さらにその地震によって起きた津波が太平洋に広がり、二十三日午後八時五十分にハワイの海岸に襲来、六十人の死者を出したことも知っていたのに、同庁ではまさかその津波が日本まで襲来しまいと考えて警報を発令しなかった。このミスが春の穏やかな朝であったのに、あの大きな惨事をひき起こしたのである。

だいたい津波は海底の火山や海底の地すべりなど海底の大きな衝撃によって起きるといわれている。海水は水面から海底まで殆んど一様に動いて沖合から浅い所に来ると、次第に高くなって海岸に襲いかかって被害を及ぼす。だから津波の津は港の意味で、海岸に起きるところからこの名が付けられ、外国でもツナミと呼んでいるそうだ。

津波が湾内に入ると、急に波高が高くなり、リアス式の三陸海岸では此の傾向が著しく、Ｖ字型の湾奥では入口の四、五倍の高い所まで押し上げた例があったと伝えられている。

津波の速さは地震波に比べて遅いので大体津波警報を聞くことが出来る。各地の地震観測官署が地震と津波を観測した場合直ちに津波の規模や海域を決定して警報を発令するので、末端でも二十分以内に知ることが出来る。津波が岸に迫って波高が水深と同じ位になると、波の頂上が崩れて堤防のようになって岸に襲いかかる。波高が十㍍ならその速さも秒速十㍍で、物体に激突すると一平方㍍当たり五〃という強大な圧力があるといわれているから海岸で生活している者は、常に津波を念頭において震度三、四位の地震がユラユラ長く揺れる場合は、警報を聞くことだ。

わが国が、世界有数の地震国で、近くは明治二十九年、昭和八年、同三十五年に津波の被害を体験しているのである。津波は大自然の現象だから将来も反復されよう。

海はわれわれの生活の場で人類を生かしてくれているが、反面、過去容赦なく犠牲を強いている。また、従来襲来した以上の大きな規模の津波は永久に襲来しないと断定する根拠がない。震源地の位置、湾口の方角等により被害地域や程度が異なる。だから過去の津波で被害が無かったからといって安閑としていてはいけない。

津波は最初の第一波、第二波は余り大きくなく、次第に五波十波と大きくなり、また漸次小さくなる。その間隔は大体十分内外であることも知っておいて貰いたい。

さて外洋に面した被害を体験した海岸には、大規模な防潮堤が構築されたが、種々の事情で防潮施設のなされていない所は若干の不安が残る。第一波の莫大な水量が湾内に押し込むと、防潮堤を避けて湾奥へ殺到するか、その低い地帯が広い平坦地であれば壊滅する。従って山を背負ったＶ字型のところのように水がせり上がらない。また雨による河川の水害のように無制限に押して来るのではない。第一波が押し寄せ何分か経つとその水が今まで見たこともない海の底まで見える位引いてしまうから、それらも心得ておく必要があろう。

かかる場合、道路と名のつくものは車に占領されてその混雑による事故が惹起されるから、予め避難路、方法、場所などを考えておくとともに、消防署では適切な避難対策を確立していると思うので、その指示に従うことが大切であろう。常に備えあれば憂いなしである。

＊＊＊
筆者紹介
＊＊＊＊

明治二十八年二月、気仙沼市松崎尾崎生まれ、八十歳。

本吉郡立水産学校を卒業後、家業の養漁業に従事、昭和三十一年から四十一年まで気仙沼湾漁場整備協議会長。三十七年から四十一年まで松岩地区漁協組合長を務めたほか、松岩村議、海区漁業調整委員、三陸養殖組合連合会長なども歴任。現在、[illegible]

趣味は読書、とくに戦記物、歴史物。